

いきいきホスピタルにゅーす

2016.10

開院 40 周年の記念ロゴをゴ布林博士が制作！



※ゴ布林・・・いたずら好きの妖精

今年開院 40 周年を迎えた筑波大学附属病院。40 周年を記念したロゴを「ゴ布林博士」こと小中大地さんが制作してくださいました。病院ゴ布林がいろいろなポーズをとって「40th」の文字を形づくっているこのロゴは、記念式典で配布されるエコバックに使用されます。

2009 年に大学病院で約 2 か月の滞在制作を行い、今も小児病棟でゴ布林ワークショップを行うなど、大学病院に大変縁のあるアーティストです。

現在、外来棟での展覧会を企画中！！来月号にて詳細をご案内しますので、お楽しみに。



「ゴ布林博士」こと
小中大地さん

展示替えしました



東玄関からのびる廊下にて展示している筑波実験植物園の写真作品が新しくなりました。

今回の展示テーマは『色々なきのこ』。見たこともない不思議なきのこたちを写真で紹介しています。

名前のつけられているきのこは世界で 2 万種以上もあり、名前のついていないもの、未発見のものもまだまだたくさんあるそうですよ！

coming soon



筑波大の授業から生まれた学生チーム「アスパラガス」。病院の“空気をおいしくする”をモットーに、2005 年から活動しています。これからの活動はアスパラガスの活動拠点アートステーション SOH (Seed of Hospital の略) をリニューアルするそう。ガラス張りの渡り廊下という空間を水族館に見立て、海の生き物が登場する予定です。